

2026年3月23日

各位

会社名 株式会社オーバーラップホールディングス
代表者名 代表取締役社長 永田 勝治
(コード番号: 414A 東証グロース)
問合せ先 取締役管理部長 岸川 雄吾
(TEL 03-4213-2770)

資金の借入及び返済（期限前弁済）に関するお知らせ

当社は、2026年3月23日開催の取締役会において、下記の通り資金の借入及び既存借入金の期限前弁済を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 資金借入の目的

本件借入は、既存借入金6,300百万円の期限前弁済資金に充当いたします。本契約の締結により、中長期的な資金調達安定化を図るとともに、既存借入金において付されていた財務制限条項の解消を含む契約内容の改善を行うことにより、さらなる財務基盤の維持・強化に努めてまいります。

2. 資金借入の概要

①借入先	株式会社三菱UFJ銀行	
②借入金額	3,000百万円	800百万円
③借入金利	変動金利（基準金利+スプレッド）	
④借入実行日	2026年3月31日	2026年3月31日
⑤返済期日	2029年6月29日	2029年6月29日
⑥返済方法	期日一括	元金均等返済
⑦保証	連結子会社である株式会社オーバーラップによる債務保証	
⑧担保	無し	

①借入先	株式会社横浜銀行	
②借入金額	700百万円	300百万円
③借入金利	変動金利（基準金利+スプレッド）	
④借入実行日	2026年3月31日	2026年3月31日
⑤返済期日	2031年3月31日	2031年3月31日
⑥返済方法	期日一括	元金均等返済
⑦保証	連結子会社である株式会社オーバーラップによる債務保証	
⑧担保	無し	

①借入先	株式会社北陸銀行
②借入金額	1,000 百万円
③借入金利	変動金利（基準金利+スプレッド）
④借入実行日	2026 年 3 月 31 日
⑤返済期日	2030 年 3 月 31 日
⑥返済方法	一部元金均等返済後一括返済
⑦保証	連結子会社である株式会社オーバーラップによる債務保証
⑧担保	無し

①借入先	株式会社名古屋銀行	
②借入金額	242 百万円	158 百万円
③借入金利	変動金利（基準金利+スプレッド）	
④借入実行日	2026 年 3 月 31 日	2026 年 3 月 31 日
⑤返済期日	2029 年 9 月 30 日	2031 年 3 月 31 日
⑥返済方法	期日一括	元金均等返済
⑦保証	連結子会社である株式会社オーバーラップによる債務保証	
⑧担保	無し	

①借入先	株式会社南都銀行
②借入金額	100 百万円
③借入金利	変動金利（基準金利+スプレッド）
④借入実行日	2026 年 3 月 31 日
⑤返済期日	2029 年 3 月 30 日
⑥返済方法	元金均等返済
⑦保証	連結子会社である株式会社オーバーラップによる債務保証
⑧担保	無し

3. 既存借入金の期限前弁済の概要

①借入先	シンジケートローン 株式会社三菱 UFJ 銀行・株式会社北陸銀行・株式会社横浜銀行 株式会社南都銀行・株式会社名古屋銀行
②期限前弁済金額	タームローン A : 1,700 百万円 タームローン B : 4,600 百万円 合計 : 6,300 百万円
③借入金利	変動金利（基準金利+スプレッド）
④借入日	2024 年 3 月 15 日

⑤返済期限	タームローン A：2024 年 8 月 31 日より 6 カ月毎に返済 (最終返済日：2029 年 6 月 29 日) タームローン B：最終返済日 (2029 年 6 月 29 日) に返済
⑥期限前弁済日	2026 年 3 月 31 日
⑦保証	連結子会社である株式会社オーバーラップによる債務保証
⑧担保	無担保
⑨財務制限条項	<p>a. 純資産</p> <p>各年度の決算期末の連結財政状態計算書上の資本合計の金額を、当該決算期の直前の決算期の末日又は 2024 年 8 月に終了する決算期の末日における借入人の連結の財政状態計算書における資本合計の金額のいずれか大きい方の 70% の金額かつ 30 億円以上に維持すること。</p> <p>b. 利益維持</p> <p>各年度の決算期末における連結ベースの営業損益又は純損益のいずれか一つでも赤字となる状態を生じさせないこと。ただし、取得原価配分手続 (PPA) を通じて認識される無形資産 (契約関連資産) 償却費を足し戻す。</p>

4. 今後の見通し

本契約が 2026 年 8 月期の業績に与える影響は軽微であります。今後公表すべき事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

以 上